



暑中のお見舞いを申し上げます。

すでに真夏日並みのお天気が続き、
なかなか身体が慣れないこの頃です。

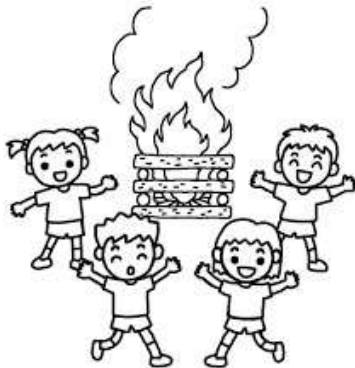
暑さで食欲が減退するこの時期に
七夕そうめんて邪気を祓い無病息災を願うのも、
うなずける気がします。
皆様お変わりありませんか。



お寺では、開山500年遠忌に向けて
少しずつ準備を整えています。

普段なかなかご参列いただけない開山忌法要ですが、
今年は記念すべき500年遠忌ですので、
ぜひ皆様とご一緒に手を合わせたいと考えております。
今月には皆様に法要参列申込書をお届けする予定です。
どうぞお誘い合わせの上、ご来山ください。

さて、8月には大本山にて一般の方向けの夏期講座が開かれます。
今年度よりご就任された妙心寺派管長 小倉宗俊 猊下による提唱がございます。
また実践行として坐禅や読経、修行道場の作法に準じた粥座（朝食）も
体験できます。ぜひご参加ください。



日時：平成30年8月24日（金）～26日（日）
場所：妙心寺・花園大学・花園会館
内容：禅学・仏教学
募集定員：150名
申込期限：平成30年7月末日必着
参加費：全行程コース26,000円/人
1泊2日コース17,000円/人

お問合せ先

〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町 64
妙心寺派宗務本所 花園会本部 夏季講座係宛
TEL：075-463-3121 FAX：075-464-9586

新亡供養団参

6月28日、昨年度ご家族を亡くなられた方々と
妙心寺の新亡供養へ行きました。
新亡供養とは、毎年行われている本山のご供養のことで、
今回は平成29年4月1日から平成30年3月末までに
亡くなられた方を対象に行われました。



朝早くに大智寺の駐車場にお集まりいただき、
妙心寺で法要に参列し昼食をとった後は、京都御所を見学しました。
京都御所は14世紀から明治2年（1869年）までの間の「内裏（禁裏）」、
歴代天皇が居住し儀式・公務を執り行った場所です。
特に、おひな様でおなじみの「左近の桜」「右近の橘」が植えられている
紫宸殿（ししんでん）は有名です。

梅雨の晴れ間に、無事皆様とお参りできたことを心から感謝します。
ありがとうございました。

大智寺だより

平成30年文月
Vol.97

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

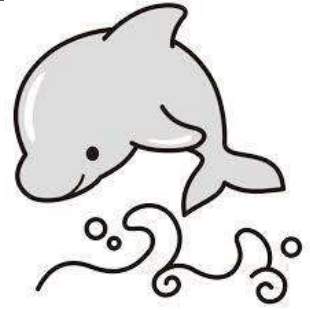
6月号発行部数
200部

ご愛読

ありがとうございます

7月 お盆の棚経及びお掃除

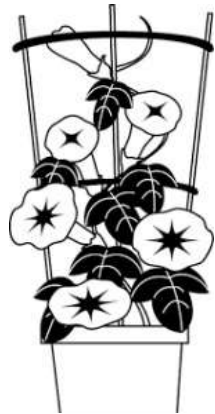
今年も13・14・15日に、いつも通り棚経に回ります。
日程は個別にお電話でお伝えした通りです。
ただ交通状況などにより、多少時間が前後するかもしれません。
暑い盛りですが、どうぞよろしくお願い致します。



また、例年行われておりますお墓及び境内のお掃除は、
7月29日(日)朝7:00より出屋敷の方々にお世話になります。
朝早くからお集まりいただきますが、どうぞよろしくお願い致します。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)

お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc わからないこと 質問帳 ③⑧



「大玄関の机にある字は何て書いてあるのかな？」

大玄関の机の上には、木の板に「本来無一物」と書いてあります。
これは、美濃加茂の正眼寺の和尚様の筆です。

時は西暦600年代の中国。

初祖達磨禅師からの法灯を守る五祖の弘忍(ぐにん)禅師のもとには七百人もの修行僧がおりました。
ある日、弘忍禅師は次の継承者を決めるに当たって、門下の一同に、
「自ら会得した悟りの境地を偈にして示せ」と告げられます。
神秀(じんしゅう)はこれに答えて、こんな偈を壁に示します。



身(み)は是(こ)れ菩提樹(ぼだいじゅ)
心は明鏡(みょうきょう)台の如(ごと)し
時時(じじ)に勤めて払拭(ふっしき)せよ
塵埃(ちんあい)を惹(ひ)かしむること莫(なか)れ

身体は菩提(悟り)の樹のようなもの、心は曇りなく明るい鏡のようなもの。
常に拭き清めて煩惱の塵がたまらないようにしたいものだ

広く学問に通じ、信望も厚かった神秀は 五祖門下のナンバーワンであり、
皆はこの偈を見て、六祖になるのは神秀に違いないと思っていました。
ところが、いまだ米焚きとして働く新参者が、そばにこんな偈を示します。

菩提(ぼだい)本(もと)樹無く
明鏡(みょうきょう)も亦(また)台に非(あら)ず
本来無一物(ほんらいむいちもつ)
何(いず)れの処(ところ)にか塵埃(ちんあい)を惹(ひ)かん

世界にはもともと菩提もないし、煩惱もない。身もなく心もない、
本来無一物である。
なんで塵や埃がつくことがあろうか、まして払ったり拭いたりすることもない。



さて身分も最下位の新参者が、最上座の神秀の偈を否定したのだから、僧堂内は大混乱。
結果、弘忍禅師はこの新参者の慧能(えのう)を後継者とし、
達磨大師から受け継がれた袈裟を受け、大混乱の僧堂から慧能を逃がすこととなるのです。
このいわく因縁の語が、「本来無一物」なのです。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

(45)

「人をば罪に落とすまじ 飢寒に苦しむ者を見ば」

誰しもお葬式に参列することがあります。
失礼のないよう、そつなく葬送儀礼を尽くし帰ってこれば、それでいいのでしょうか。
お葬式は、死者が全身全霊で残された人達に語りかける場でもあります。
「目をそらしてはダメ。あなたにも必ず突然死ぬ日がある。
かけがいのない今を、心を込めて生きてほしい」
この死者のメッセージを、お葬式ではしっかり心に刻み込みたいものです。

「生きる」

この貴重な一瞬、私たちは自分を取り巻く宇宙全体の働きを一心に受けています。
どんな小さなものも共にこの働きを一心に受けている仲間です。
アメリカの国立公園の父と呼ばれたジョン・ミューアは
「一輪のスミシのために地球がまわり、雨が降り風が吹く」と言っています。
雪の山脈で6年間放浪し、天地の声を聞いた人の言葉です。
皮のつっぱりの中で生きているのではなく、宇宙全体で生きているのだとしたら、どう生きるべきか。
常に全体の幸せを、常に世の中の安穩を願う生き方が見えてきます。

今更のくまじ

先月末からムシムシとしたお天気が続き、
梅雨から本格的な夏へ移ろうとしています。
寝苦しい日が続く、早くもクーラーが大活躍。
皆様、お変わりありませんか。

さて、暑くなってくると気分もぐったり。
身体がだるいと、楽な方へ楽な方へとすべて
流れていき、ついには料理するのも暑くて、
台所嫌いになります。足を投げ出してアイス
でも食べたい気分になってしまいます。
隣から「ミシンとかけて恥じらいと解く、そ
の心は どこへ行ったか分からない」などと
冷やかすラジオの声が聞こえてきます（笑）

今年は34歳の若さで円覚寺派管長、さらに
建長寺派管長を兼務された宗演老師の百年遠
忌に当たります。宗演老師は福沢諭吉に英語
を学び、アメリカの地に初めて禅を伝えた方
です。また、夏目漱石や鈴木大拙が参禅した
ことでも知られています。

そんな宗演老師の座右の銘の一つに
「客に接するは独り処（お）るが如く
独り処るは客に接するが如し」とあります。

なかなか一人では緊張感が長続きしない
苦難の夏が、今年もやってきました。いつも
隣にお客さんがいると思いがちな経過が
できれば、さぞすっきりきれいな夏を楽し
むことができるだろうに、きつと今年も無理
だらうなと思いつつ七夕に願ってみます。
自分を律するのは、本当に難しい・・・

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

朝食にぴったりジューシーな キャロットケーキ

- ① 人参を2～3本すりおろしておく。
- ② 薄力粉 180g とベーキングパウダー（カレースプーン一杯）と
重曹 5g、シナモンパウダー（好みで）を混ぜておく。
- ③ 別のボウルに卵2個と砂糖 60g を加えてよく混ぜ、油 180cc も加えて、
もったりしたマヨネーズ的な見た目になるまで混ぜる。
- ④ 人参のすりおろしと刻みクルミとレーズンひとつかみ入れて混ぜる。
- ⑤ 粉類を一気に入れて混ぜ、180℃に予熱したオーブンで40～45分焼く。



クリームチーズ 200g に砂糖やレモン汁を混ぜてケーキに塗り一晩寝かせると、なお添えると美味。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

7月22日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

6月写経会 備忘録

梅雨の晴れ間の日曜日、大勢お写経においでいただきありがとうございました。今回はとてもポピュラーな落語「平林」を一緒に楽しみました。物覚えの悪い丁稚さんが、預かった手紙を届けるお話。目的を忘れて余計なことに目を奪われている自分の姿と重なります。自分の目指していたものは何か、耳の痛い落語でした。



お釈迦様が生きていた頃
あんな人、こんな人

第十六話 「恐ろしい言葉 アバヤさん」



ちょうど今は昼食時。

アバヤさんの家ではお釈迦様一行を招いて昼食供養会が開かれています。
「ブッダと呼ばれるようなお方でも、お前は地獄行きだ、というような恐ろしい言葉を使うことがあるのですか」

アバヤさんが幼い息子を胡坐に乗せて、家族や使用人、仏弟子たちが見守る中でたずねました。

その頃、お釈迦様に反逆を繰り返していたデーヴァダッタに対し、

お釈迦様が「お前は地獄に墮ちる」と粗暴な言葉を発したという噂が町に流れていました。

実は今回、仏教の広がりをよく思っていなかったジャイナ教の教祖様が、

お釈迦様を貶めようと思い、ジャイナ教の信者であるアバヤさんと呼んで入れ知恵をしたのでした。

「悟った者は他人を傷つけるような言葉を吐くことはないはず。

こんな恐ろしい言葉を言うなら、覺者と凡夫の区別がつかないではないかと詰問すればよい。

多分返答に窮してお前さんの名は高まるだろうよ」こんなふうにくしかけられたアバヤさん。

さて、答えに窮して絶句するお釈迦様を想像していましたが、逆にお釈迦様から質問を受けます。

「例えばその膝の上の赤ん坊が石ころをのどに詰めたらあなたはどうしますか」

「そりゃ、血が出ようとものどに指をつっこんで石を取り出しますよ」

「そうですね。恐ろしい言葉でも相手にとって救いになるのなら使うことはあります。

慈悲の心で言葉を使います」

心の広さ、深さを感じ取ったアバヤさんは赤ん坊を膝から下ろし、平伏しました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。

必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。

詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。